

食育体験学習

伝えたい、食の大切さ

食育体験学習では、栄養士の指導で普段の食生活に不足しがちな野菜・果物など、食品の栄養やバランスの良い食事の大切さについて学習します。子どもたちに問いかけていく参加型の講義や、実際に売り場で野菜を選ぶお買い物ゲームは、スーパーマーケットならではの体験として毎回ご好評をいただいています。



食育体験学習

小学生・園児を対象とした食育体験学習では、栄養士の講義のあと、店舗の農産売り場で野菜のお買い物ゲームを行っています。また、野菜・果物クイズでは食べ物の旬についても学びます。2015年度は7,373名(首都圏:2,673名、近畿圏:4,700名)の小学生・園児にご参加いただきました。食育活動を通して、食の大切さを伝え、野菜・果物の摂取を促し、食への関心を高めていきます。



野菜・果物クイズ



「お買い物ゲーム」で、野菜を「みて」、野菜に「ふれる」



レジで金額の確認